

平成29年度 Science Lectureship Award 国際学術講演賞 報告

地球科学科長・コース長・研究部門長 宮内 崇裕

平成29年11月17日、けやき会館大ホールにてScience Lectureship Award (SLA) 国際学術講演賞の講演会と授賞式が、地球科学科・地球科学コース・地球科学研究部門の企画および理学部後援会の主催で開催されました。今回の受賞者は、宍倉正展博士で、現在、国立研究開発法人産業技術総合研究所地質調査総合センター活断層・火山研究部門海溝型地震履歴研究グループ長を努められておりますが、2011年当方地方太平洋沖地震を予測したことで著名です。今回のSLAでは、従来のように海外で活躍する研究者の講演ではなく、国際的に活躍する当理学部の卒業生による講演とし、学部学生の目標となるようにしました。講演題目は「巨大地震をほり起こす」で、2012年度文部科学大臣表彰科学技術賞の授賞対象となった日本近海で起きてきた海溝型の巨大地震の解説と将来予測に関する講演内容でした。講演後の質疑では、来場者（学生・教員・一般）から多くの発言がありました。

授賞式では、徳久学長と柳澤理学部長から祝辞を賜った後に、理学部長から賞状と記念メダルが、地球科学コースの学生から記念品の漆細工USBメモリと花束の贈呈がありました。引き続きとりおこなわれた懇親会では、多くの後輩学生が宍倉先生と懇談を深める様子が印象的でした。自分達と同じ大学で学んだ大先輩が活躍する様子を肌で感じた在校生諸君は、理学に対する真摯な気持ちと不断の努力があれば先輩のようになれるという高い志をもつ良い機会となったことと思います。

SLAの企画・運営に尽力した学生委員、事務職員、関係教員、また資金の支援をいただいた理学部後援会に深く感謝する次第です。



千葉大学西千葉キャンパス、けやき会館にて開催



穴倉教授の紹介をする本学の宮内教授



質問に丁寧に回答される穴倉教授



授賞式の様子





スピーチを述べられる宍倉教授



和やかな懇親会の様子